

国道354号

東毛広域幹線道路（東毛軸）

～ 周辺道路も開通し、さらなる企業進出、地域の活性化に大きな期待 ～



概要

東毛広域幹線道路は、高崎駅東口を起点に、伊勢崎市、太田市、館林市などを経て、板倉町に至る東毛地域を広域的かつ横断的に連絡する総延長約59 kmの主要幹線道路です。

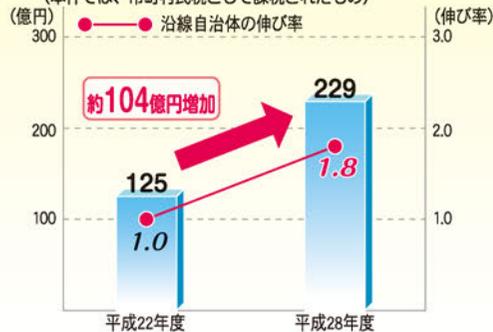
平成28年には東毛広域幹線道路が高崎駅東口～館林ICまでの間で全線4車線化されました。周辺道路である国道122号館林明和バイパス、国道354号板倉北川辺バイパスも平成30年3月に開通したことで、周辺地域の渋滞緩和や沿線の産業立地・物流の効率化が一層すすむことが期待されます。

整備効果

沿線地域では、企業立地が進み、税収が増加しており、活発な経済活動が認められます。東毛広域幹線道路の全線開通も、企業立地や活発な経済活動に貢献しています。

県内法人住民税の税収と伸び率

- ※沿線自治体：東毛広域幹線道路が通過する8自治体と千代田町、明和町を含めた10自治体
- ※法人住民税：法人の収益・規模に応じて課せられる税（本件では、市町村民税として課税されたもの）



出典：総務省地方財政状況調査



【新規団地造成が進む高崎玉村スマートインターチェンジ周辺】



【館林明和バイパス】

